ISSN 1881 － 980X

一般社団法人日本科学教育学会
Japan Society for Science Education
発　行：中山　迅
事務局：中西印刷株式会社　学会部内
URL：*http://www.jsse.jp*

2019.12.15
NO.245

科学教育研究レター

JSSE
日本科学教育学会

目　次

■ **理事会だより** ・・・・・・・・ 2
第 286 回理事会報告

■ **学会賞** ・・・・・・・・ 5
第 43 回年会発表賞の決定

■ **年会** ・・・・・・・・ 6
第 44 回年会開催案内（第２次）

■ **支部・研究会だより** ・・・・・・・・ 8
研究会投稿料に関するお知らせ
2019 年度研究会開催のお知らせ

■ **国際交流委員会だより** ・・・・・・・・14
国際学会参加報告（60）
国際学会開催情報

■ **編集委員会だより** ・・・・・・・・17
2019 年度第 1 回編集理事会報告
「科学教育研究」投稿・掲載決定状況

■ **広報委員会からのお知らせ** ・・・・・・・・19

一般社団法人日本科学教育学会第 286 回理事会報告

（要点のみ掲載）

日　時　2019 年 11 月 16 日（土）14:00～17:00
会　場　株式会社内田洋行　新川本社　6 階会議室
出席者　会長　中山　迅，副会長　猿田祐嗣
　　理事　青山和裕，松浦拓也，内ノ倉真吾，益川弘如，山口悦司，隅田　学，
　　出口明子，山本智一，舟生日出男，谷塚光典
　　監事　余田義彦，佐伯昭彦
　　庶務担当幹事　川上　貴

１．議事要録（案）の承認
○第 285 回理事会議事録（案）を承認した.
○第 43 回定時代議員総会議事録（案）を承認した.
２．第 285 回理事会までの電子会議による審議事項と審議結果
○事務局からの発議により，8/31 までに入会を希望した 10 名を電子会議により審査した結果，全員の入会が承認された (9 月 6 日)
○事務局からの発議により，9/30 までに入会を希望した 4 名を電子会議により審査した結果，全員の入会が承認された (10 月 4 日)
○事務局からの発議により，10/31 までに入会を希望した 9 名を電子会議により審査した結果，全員の入会が承認された (11 月 6 日)
３．報告事項
1) 庶務・事務局
○事務局より文書受理（刊行物送付を含む）や諸対応の報告があった.
2) 機関誌編集
○現在の投稿，査読状況及び掲載決定状況について報告があった.
3) 学会賞
○年会発表賞候補の会員からの推薦について，３件を審査対象とすることが報告された.
4) 支部・研究会
○東北支部と九州・沖縄支部の研究会の発表件数，並びに，2020 年度以降のコストカットを志向した研究会のあり方に関する検討状況について説明があった.
5) 年会企画
○第 44 回年会（姫路）の準備状況について，キックオフミーティングを 11 月 27 日に行うこと，予算案，並びに，日程概要案についての報告があった.
○第 44 回年会では参加費を一律 1000 円値上げすることの報告があった．年会実行委員会で参加費を検討して最終的に決めることを確認した.
○年会時の学生アルバイトの労災保険加入の必要性に関する情報についての報告があった.

6) 若手活性化

○第 43 回年会における若手活性化委員会企画について，盛会に終わった旨の報告があった.

○2019 年度第 3 回研究会（若手活性化委員会開催）の準備状況について，発表と参加の申し込み件数，並びに，論文執筆ワークショップを企画している旨について報告があった.

４．協議事項

1) 経理・会員

○退会希望者２名について承認した.

現在会員数 1,437 名（正会員 1,237 名，学生会員 137 名，名誉会員 13 名，公共会員 1 名，賛助会員３名，シニア会員 46 名）（2019 年 11 月 5 日付）

○冊子の有料化に対応できるようにするために，2020 年度以降の会費請求時の払込取扱票について提案があり，承認された.

○「科学教育研究」1 号（2020 年 3 月発刊予定）を発送する際に，冊子体が有料になる旨を会員にアナウンスすることが承認された.

2) 学会賞

○年会発表賞の選考について，第 43 回年会発表賞候補３件の中から審議の結果，以下の 1 件の論文を承認した.

・「疑似科学的言説に対する科学リテラシー向上を目的としたオンラインプラットフォームの開発」山本輝太郎（明治大学），佐藤広英（信州大学），菊池聡（信州大学）

3) 年会企画

○第 43 回年会（宇都宮大会）の予算執行報告について，会計報告の説明があり，承認された.

○第 45 回年会の開催について，開催担当を鹿児島大学とすることについて提案があり，承認された. 2021 年 8 月 20 日～22 日に鹿児島大学郡元キャンパスでの開催を予定している旨が報告された.

4) 若手活性化

○第 3 回研究会（若手活性化委員会担当）における「科学教育研究」論文投稿ワークショップの企画の内容について説明があり，承認された．編集委員会に査読関係者への許諾の手続きを依頼することが承認された.

5) 役員・代議員選挙管理委員会

○役員選任規定の変更について，「重任理事候補者を会長候補の理事候補に推薦できる」ことを明記するために，規定第 8 条第 3 項と第 11 条の改正案が提案され，一部文言の修正の上承認された.

○推薦対象の役員候補者に関する説明について，退任理事（本年度任期満了の理事）を今回の選挙の候補者に推薦できないことについての説明を会告の文章中に記載することの説明があり，承認された.

○役員推薦書の見直しについて提案があり，承認された.

○役員候補者の選任に関わる定款の改正に向けての準備について説明があり，事務局会議で改正に向けた案を検討していくこととした.

５．次回以降の理事会予定

・第 287 回：2020 年３月 21 日（土）14:00～17:00　場所：株式会社内田洋行 新川第２オフィス

・第 288 回：2020 年６月 20 日（土）14:00～17:00　場所：株式会社内田洋行 新川第２オフィス

・第 289 回（改選前）：2020 年８月 25 日(火）時間未定　場所:姫路商工会議所

・第 290 回（改選後）：2020 年８月 27 日(木）時間未定　場所:姫路商工会議所

・第 291 回：2020 年 11 月 21 日（土）14:00～17:00　場所:株式会社内田洋行 新川第２オフィス

第 43 回年会発表賞の決定

学会賞選考委員会では，第 43 回年会発表賞について，会員からの推薦にもとづいて慎重に審議を重ね，候補者の選考を進めてまいりました．平成 31 年 11 月 16 日に開催された第 286 回理事会の議を経て，下記 1 件が 2020 年度年会発表賞に選ばれました．誠におめでとうございます．「＊」は現在非会員の方ですが，2020 年 2 月末までに入会された場合は受賞対象となります．

発表者：

山本輝太郎(明治大学) ＊佐藤広英(信州大学) ＊菊池聡(信州大学)

発表論文：

疑似科学的言説に対する科学リテラシー向上を目的としたオンラインプラットフォームの開発，第 43 回年会論文集，pp. 501-502，2019.

選定理由：

本研究では，閲覧者の知識や技能に応じて段階的に利用可能な疑似科学に対する科学リテラシー教育のプラットフォームを開発し，試験的実践を行っている．今後，実践評価を繰り返しプラットフォームを充実させることにより，科学リテラシー教育の発展が期待できる．

第 44 回年会開催案内（第２次）

年会企画委員会・年会実行委員会

１．日程：2020 年 8 月 25 日（火）～27 日（木）（3 日間を予定）

２．会場：姫路商工会議所
（〒670-8505　兵庫県姫路市下寺町 43）
https://www.himeji-cci.or.jp/accessmap/index.html
※懇親会（26 日（水）夕方）は，姫路商工会議所 2 階大ホールで予定しています.

３．スケジュール概要（予定）
25 日（火）午前：研究発表
午後：研究発表　理事会（改選前）　顧問・理事・支部長・代議員合同会議
26 日（水）午前：研究発表　招待講演（科学教育研究セミナー）
午後：代議員総会・表彰　基調講演　シンポジウム　懇親会
27 日（木）午前：研究発表
午後：理事会（改選後）　研究発表（申込状況により設定）
＊この他，各委員会による企画，各委員会の会合等があります.

４．発表申込等について
研究発表（課題研究発表，一般研究発表，インタラクティブセッション）の申込・原稿提出のスケジュールは，次号『科学教育研究レター』等でお知らせします.

５．連絡先：日本科学教育学会第 44 回年会実行委員会
E-mail：jssehyogo44 [at mark] gmail.com

６．第 43 回年会実行委員会
委員長 松本伸示（兵庫教育大学）
副委員長 山本智一（兵庫教育大学）
委 員　石原諭（兵庫教育大学），猪本修（兵庫教育大学），笠原恵（兵庫教育大学），
加藤久恵（兵庫教育大学），溝邊和成（兵庫教育大学），
宮田佳緒里（兵庫教育大学），森山潤（兵庫教育大学），
山口忠承（兵庫教育大学）

7．年会企画委員会

委員長 林　敏浩（香川大学）

副委員長 瀬戸崎典夫（長崎大学），向　平和（愛媛大学）

幹事 加藤久恵（兵庫教育大学）

担当理事 大谷　忠（東京学芸大学），山本智一（兵庫教育大学）

委 員 川上　貴（宇都宮大学），川崎弘作（岡山大学），
木村優里（NPO 法人東京学芸大学こども未来研究所），北島茂樹（明星大学），
島田和典（東京学芸大学），高井吾朗（愛知教育大学），
高橋一将（北海道教育大学），高橋　聡（東京理科大学），野添　生（宮崎大学），
服部裕一郎（高知大学），日野圭子（宇都宮大学），谷塚光典（信州大学），
山田真子（長崎大学）

研究会投稿料に関するお知らせ

2019 年度の研究会から，第 1 著者の方に投稿料をお支払いいただくことになりましたので，以下に詳細をお知らせいたします.

［投稿料の金額と要件］

【1】金額 (1 論文あたり)

・第 1 著者が会員の場合　4 ページ論文：4,000 円，6 ページ論文：6,000 円

・第 1 著者が非会員の場合　4 ページ論文：8,000 円，6 ページ論文：10,000 円

※振込手数料を別途ご負担ください.

※振込者名は，原則として第 1 著者名でお願いします．他の連名著者が支払う場合には，通信欄もしくは送信者名の冒頭に必ず第 1 著者名を記載してください.

※請求書や領収書が必要な場合には, 宛名（所属・名前）を申込み時に, 事務局（ jsse[atmark]nacos.com ）にお知らせください.

【2】事前振込となります.

【3】振込期日は原稿の提出日と同日です.

【4】期日までに入金が確認でき，原稿が提出された発表のみ，研究会の 2 日前に J-Stage に論文を公開します.

※振込手続の際には，入金日をご確認うえ，期日に間に合うようご注意ください.
（期日までにご入金が確認できない場合は，J-Stage に論文は公開されず，発表はできません.）

・学生会員も同様です.

・発表申込み時に「入会申込み」が完了していれば，会員として扱います.

・１つの研究会で第１著者として申込みできるのは，１件です.

・当日，発表者として登壇できるのは，原則第１著者とします.

・一度入金された投稿料は，いかなる場合も一切返金しません．返金に関する問い合わせへの対応も一切いたしませんので，予めご了承ください.

［送金先（郵便振替貯金口座)］

加入者名：一般社団法人日本科学教育学会

口座番号:00170-6-85183　（他金融機関からの送金の場合 ： 〇一九 (ゼロイチキュウ)店　当座　0085183）

※通信欄に，必ず「発表する研究会名（〇〇支部あるいは若手活性化委員会)」「第 1 著者氏名」を記入してください. 記入できない場合は, 別途メールにてご連絡ください. (連絡先: jsse[atmark]nacos.com ）

※「振替払込請求書兼受領証」をもって領収書に代えさせて頂きます.
学会発行の領収書がご入用の場合は, 払込取扱票の通信欄に, 1) 領収書希望, 2) 宛名をご記入の上, ご送金下さい．別途事務局宛（ jsse[atmark]nacos.com ）メールでも承ります.

2019 年度研究会開催のお知らせ

開催計画

開催支部	開催日	会場
東北支部	2019 年 11 月 30 日（終了）	岩手大学
九州沖縄支部	2019 年 11 月 30 日（終了）	琉球大学教育学部
若手活性化委員会	2019 年 12 月 21 日	長崎大学・文京キャンパス
北海道支部	2020 年 3 月 7 日	北海道教育大学旭川校
北陸甲信越支部	2020 年 3 月 7 日	上越教育大学
南関東支部	2020 年 3 月 21 日	東京学芸大学小金井キャンパス講義棟 N411
北関東支部	2020 年 5 月 16 日	群馬大学教育学部
四国支部	2020 年 5 月 23 日	徳島大学総合科学部＜１号館＞
中国支部	2020 年 5 月 30 日または 6 月 6 日	福山市立大学
東海支部	未定	静岡大学

研究会に関する最新情報は学会 Web ページに掲載しますので，ご確認ください．
※右の QR コードより，学会 Web ページ（研究会案内）にアクセスできます．
http://www.jsse.jp/jsse/modules/note7/

2019 年度第 3 回日本科学教育学会研究会（若手活性化委員会開催）

［テーマ］次世代の科学教育研究
［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会
［日　時］令和元年（2019）12 月 21 日（土）13:00～17:30（12:30 受付開始）
［会　場］長崎大学（文京キャンパス）
〒852-8521 長崎県長崎市文教町１-１４
○交通案内 http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html 大学構内（会場付近）には駐車場がありますので自家用車やレンタカーも利用可能です．
［対　象］会員，教員，学生，社会人
［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．参加費は無料です．

多数の方々のご参加をお待ちしております．

日本科学教育学会　若手活性化委員会委員長　雲財　寛（日本体育大学）

2019 年度第 4 回日本科学教育学会研究会（北海道支部開催）

［テーマ］明日を拓く科学教育

［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会

［日　時］令和 2 年（2020）3 月 7 日（土）　9:30～12：30

［会　場］北海道教育大学旭川校　自然科学棟 N123 教室他

〒070-8621　北海道旭川市北門町 9 丁目

［対　象］会員，教員，学生，社会人

［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．

参加費は無料です．

［申込み先］2019 年度第 4 回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：高橋一将

〒070-8621 北海道旭川市北門町 9 丁目　北海道教育大学旭川校

Tel/Fax（0166-59-1305）

E-mail：takahashi.kazumasa(atmark)a.hokkyodai.ac.jp（高橋一将）

［発表申込・論文提出締切］

発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします．

希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アドレス，電話番号，連絡先住所，使用機器 を明記した E-mail を 企画編集委員：高橋一将（北教大）までお送りください．

発表申込締切は，令和 2 年（2020）1 月 27 日（月）です．

研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019.docx 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和 2 年（2020）2 月 16 日（日）です．

次のウェブサイトから投稿してください．

〈https://jsse-kenkyukai-form.jp/〉

研究会情報のプルダウンメニューで「北海道支部」を選んでください．

投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．

アドレスの(atmark)の部分は＠です．

原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください．

多数の方々の申込をお待ちしております．

日本科学教育学会　北海道支部長　久保良宏（北海道教育大学旭川校）

2019 年度第 5 回日本科学教育学会研究会（北陸甲信越支部開催）

［テーマ］令和時代を切り開く科学教育研究

［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会

［日　時］令和 2 年（2020）3 月 7 日（土）　9：30～16：30

［会　場］上越教育大学　人文棟 113，114

〒943-8512　新潟県上越市山屋敷町 1 番地

［対　象］ 会員，教員，学生，社会人

［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．

参加費は無料です．

［申込み先］2019 年度第 5 回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：山田 貴之

〒943-8512　新潟県上越市山屋敷町 1 番地　上越教育大学

Tel/Fax（025-521-3441）

E-mail：tyamada(atmark)juen.ac.jp（山田 貴之）

［発表申込・論文提出締切］

発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．

希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アド レス，電話番号，連絡先住所，使用機器 を明記した E-mail を 企画編集委員 : 山田貴之（上越教育大学）までお送りください．

発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．

発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします．

希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アド レス，電話番号，連絡先住所，使用機器 を明記した E-mail を 企画編集委員 : 山田貴之（上越教育大学）までお送りください．

発表申込締切は，令和 2（2020）年 1 月 27 日（月）です．

研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019revised.docx 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和 2（2020）年 2 月 16 日（日）です．

次のウェブサイトから投稿してください．

〈 https://jsse-kenkyukai-form.jp/ 〉

研究会情報のプルダウンメニューで「北陸甲信越支部」を選んでください．

投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．アドレスの(atmark)の部分は＠です．

原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください．

多数の方々の申込をお待ちしております．

日本科学教育学会　北陸甲信越支部長　三崎隆（信州大学）

2019 年度第 6 回日本科学教育学会研究会（南関東支部開催）

［テーマ］自然災害対策に有為な科学的知識・技能と思考・判断・表現力

［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会

［日　時］令和 2 年（2020）3 月 21 日（土）　12:00～18:00（予定）

［会　場］東京学芸大学　小金井キャンパス　N 講義棟 411 教室（予定）

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

会場へのアクセスの詳細は http:// www.u-gakugei.ac.jp/access/ にてご確認ください.

［対　象］会員，教員，学生，社会人

［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます.

参加費は無料です.

［申込み先］2019 年度第 6 回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：平田昭雄

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1　東京学芸大学　教職大学院教育実践創成講座

Tel&Fax (042-329-7545)

E-mail：hirata (atmark)u-gakugei.ac.jp（平田）

［発表申込・論文提出締切］

発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします.

希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アドレス，電話番号，連絡先住所，使用機器 を明記した E-mail を 企画編集委員：平田昭雄（東京学芸大学）までお送りください.

発表申込締切は，令和２年（2020）2 月 10 日（月）です.

研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください.

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください.

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019.docx 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和 2 年（2020）3 月 1 日（日）です.

次のウェブサイトから投稿してください.

〈https://jsse-kenkyukai-form.jp/〉

研究会情報のプルダウンメニューで「南関東支部」を選んでください.

投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．アドレスの(atmark)の部分は＠です.

原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください.

多数の方々の申込をお待ちしております.

日本科学教育学会　南関東支部長　鎌田正裕（東京学芸大学）

2019 年度第 7 回日本科学教育学会研究会（北関東支部開催）

［テーマ］知性を高め未来を創る科学教育

［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会

［日　時］令和 2（2020）年 5 月 16 日（土）9:30～15:00（予定）

［会　場］群馬大学　教育学部 C 棟

〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町 4-2

［対　象］会員，教員，学生，社会人

［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．

参加費は無料です．

［申込み先］2019 年度第 7 回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：小泉 健輔

〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町 4-2　群馬大学教育学部

Tel/Fax (027-220-7204)

E-mail: k-koizumi(atmark)gunma-u.ac.jp（小泉 健輔）

［発表申込・論文提出締切］

発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．

発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします．

希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アドレス，電話番号，連絡先住所，使用機器 を明記した E-mail を 企画編集委員：小泉健輔（群馬大学）までお送りください．

発表申込締切は，令和 2（2020）年 3 月 23 日（月）です．

研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019revised.docx 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和２（2020）年 4 月 19 日（日）です．

次のウェブサイトから投稿してください．

〈 https://jsse-kenkyukai-form.jp/ 〉

研究会情報のプルダウンメニューで「北関東支部」を選んでください．

投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．アドレスの(atmark)の部分は＠です．

原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください．

多数の方々の申込をお待ちしております．

日本科学教育学会　北関東支部長　高藤清美（筑波学院大学）

国際学会参加報告（60）
- 13th Conference of the European Science Education Research Association -

2019 年 8 月 26 日から 30 日にイタリア・ボローニアにおいて 13th Conference of the European Science Education Research Association（欧州科学教育学会第 13 回大会）が開催されました．この大会は隔年で開催されており，欧州の科学教育関係者にとっての最大の会合になります．

大会のテーマは The beauty and pleasure of understanding: Engaging with contemporary challenges through science education でした．Conference Book によりますと，テーマ設定の理由には，欧州最古の大学のあるボローニアの beauty が研究を鼓舞し，議論を進める快適な環境を創り出すこと，また，beauty は複雑化する世界の中での変革と変化, 真正の取組にとってのエンジンになることが挙げられています. そして，大会を通して議論すべき contemporary challenges として，気候変動，多文化主義，新しい学際領域の隆盛（認知神経科学，IT，デジタル・ヒューマニティなど），デジタルの時代やポスト・トゥルースの時代における科学の関わる社会的争点の不確定性が例示されています．

大会のプログラムでは 4 つの全体会講演がありました．演題はそれぞれ「On time and water」「Where are we? Syntheses and synergies in science education research and practices」「Embodies cognition: From neuroscience to science education」「Socioscientific-issues: Searching for new perspectives」であり，大会のテーマを反映していることがわかります．そして 18 の研究分野において，シンポジウム，口頭発表，ポスター発表, ワークショップなどがありました. 18 の研究分野は, ①Learning science: Conceptual understanding, ②Learning Science: Cognitive, affective, and social aspects，③Science teaching processes，④Digital resources for science teaching and learning，⑤Teaching-learning sequences as innovations for science teaching and learning, ⑥Nature of science: History, philosophy and sociology of science，⑦Discourse and argumentation in science education, ⑧Scientific literacy and socio-scientific issues, ⑨Environmental, health and outdoor science education, ⑩Science curriculum and educational policy，⑪Evaluation and assessment of student learning and development, ⑫Cultural, social and gender issues in science and technology education, ⑬Pre-service science teacher education, ⑭In-service science teacher education, Continued professional development，⑮Early years science education, ⑯Science in the primary school，⑰Science teaching at the university level，⑱Methodological issues in science education research．これらに含まれる発表件数は 1,528 であり，多様な研究が展開されていることがうかがえます．さらに大会開始前には，11 の Pre-conference Workshops がありました．

私は研究室の大学院生とともに主に⑧と⑨の分野に参加し，研究発表をしたり，座長を務めたりしました. そこで感じたことは, 先述の contemporary challenges を多分に意識した議論がなされていること，そこには欧州の切迫した社会課題，学校課題が横たわっているということです．そうした課題に対して科学教育はいかなる打開を果たすのか．アジアの私たちにも問われているように思いました．

次回は 2 年後です．研究の成果発表や交流の場として，参加されることをお勧めします．

（岡山大学・藤井浩樹）

国際学会開催情報

2020 年

10th International Conference on Internet Technologies & Society 2020

開催地：São Paulo, Brazil

期間：2020 年２月 5 － 7 日

http://www.its-conf.org/

The 11th International Conference on Education, Training and Informatics: ICETI 2020

in the context of The 11th International Conference on Society and Information Technologies: ICSIT 2020

開催地：Orlando, Florida, USA

期間：2020 年 3 月 10 - 13 日

http://www.iiis-spring20.org/icsit/website/default.asp?vc=31

The 31st annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催地：New Orleans, USA

期間：2020 年４月 6 -10 日

https://site.aace.org/conf/

☆特色：地元の学校見学のツアーが計画されることがある(毎回ではない)ので，海外の学校を見学してみたいという人にお勧め．

The 6th International Conference on Learning and Teaching—ICLT 2020

開催地：Macau, China

期間：2020 年 5 月 18-20 日

http://www.iclt.org/

EdMedia

開催地：Amsterdam, Netherlands

期間：2020 年 6 月 18-20 日

https://www.aace.org/conf/edmedia/

☆特色：地元の学校見学のツアーが計画されることがある(毎回ではない)ので，海外の学校を見学してみたいという人にお勧め．

AACE International Conference & Expo

開催地：Chicago, USA

期間：2020 年 6 月 28 日-7 月 1 日

https://web.aacei.org/conferences-events

The 6th International STEM in Education Conference

開催地：Vancouver, Canada

期間：2020 年 7 月 9-11 日

http://stem2020.ubc.ca/

編集委員会だより

2019 年度第 1 回編集理事会報告

令和元年 11 月 16 日（金）内田洋行新川本社において開催された．まず，「科学教育研究」の編集状況について，以下の通りに報告された．

1. 新規投稿論文（2019.10.1～2019.10.31）：9 編（内訳：和文 9 編，英文 0 編）
2. 査読中論文（2019.10.31 現在）：20 編（内訳：担当編集委員選定中：0 編，査読者選定中：0 編，査読中（1 回目）：16 編，担当編集委員による第 1 審総合判定中：0 編，改訂稿待ち：2 編，査読中（2 回目）：2 編，担当編集委員による第 2 審総合判定中：0 編，編集委員長による最終判定中：0 編）
3. 掲載決定論文（2019.10.1～2019.10.31 現在）：0 編（内訳：研究論文 0 編，総説・展望編，資料 0 編，プラザ 0 編（合計 43-4：0 編（通算 17 編），44-1：0 編（通算 0 編））

続いて，特集「次世代を担う若手研究者の科学教育研究」（43 巻 4 号）の編集状況と，特集「「社会に効果的に適応できる資質・能力の育成と評価」（44 巻 2 号）の編集状況がそれぞれ順調に進んでいることが報告された． 今後の特集論文（45 巻 2 号）のテーマに関する意見交換が行われた．

次の編集理事会は，2020 年 3 月 21 日（土）12:00～14:00，内田洋行新川本社での開催が予定されている．

「科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況

（2019 年 10 月 31 日現在）

	新規投稿論文数（編）		審査中（編）		掲載決定論文数（掲載号）		招待論文数（掲載号）		掲載不可論文数	
	和　文	英　文	和　文	英　文	和　文	英　文	和　文	英　文	掲載不可	辞退
2017年　10月	15	1	27	1	0 (41-4) 0 (42-1)	0 (41-4) 0 (42-1)	0 0		3	0
2017年　11月	5	0	28	1	1 (41-4) 1 (42-1)	0 (41-4) 0 (42-1)	0 0		3	0
2017年　12月	9	0	27	1	2 (42-1) 0 (42-2)	0 (42-1) 0 (42-2)	0 0		8	0
2018年　1月	7	0	27	1	1 (42-1) 1 (42-2)	0 (42-1) 0 (42-2)	0 0		5	0
2018年　2月	7	0	30	1	1 (42-2) 0 (42-3)	0 (42-2) 0 (42-3)	0 0		3	0
2018年　3月	15	0	37	1	4 (42-2) 0 (42-3)	0 (42-2) 0 (42-3)	1 (42-2) 0		3	1
2018年　4月	14	0	42	0	1 (42-2) 3 (42-3)	0 (42-2) 0 (42-3)	0 0		4	2
2018年　5月	5	0	35	0	1 (42-2) 3 (42-3)	0 (42-2) 0 (42-3)	0 0	1 (42-2)	8	0
2018年　6月	6	0	35	0	3 (42-3) 0 (42-4)	0 (42-3) 0 (42-4)	0 0		3	0
2018年　7月	6	1	35	1	1 (42-3) 1 (42-4)	0 (42-3) 0 (42-4)	0 0		3	1
2018年　8月	6	1	30	1	6 (42-4) 0 (43-1)	0 (42-4) 0 (43-1)	0 0		6	0
2018年　9月	4	0	16	1	9 (42-4) 1 (43-1)	0 (42-4) 0 (43-1)	0 0		7	2
2018年　10月	14	0	26	1	0 (42-4) 1 (43-1)	0 (42-4) 0 (43-1)	0 0		2	1
2018年　11月	5	0	24	1	0 (42-4) 1 (43-1)	0 (42-4) 0 (43-1)	0 0		6	0
2018年　12月	4	0	26	1	1 (43-1) 0 (43-2)	0 (43-1) 0 (43-2)	0 0		1	0
2019年　1月	8	0	27	0	0 (43-1) 5 (43-2)	0 (43-1) 0 (43-2)	0 0		4	0
2019年　2月	2	0	24	0	0 (43-1) 4 (43-2)	0 (43-1) 0 (43-2)	0 0		1	0
2019年　3月	11	0	28	0	2 (43-2) 0 (43-3)	0 (43-2) 0 (43-3)	0 0		4	1
2019年　4月	18	0	39	0	2 (43-2) 1 (43-3)	0 (43-2) 0 (43-3)	0 0		4	0
2019年　5月	7	0	39	0	0 (43-2) 2 (43-3)	0 (43-2) 0 (43-3)	2 0		5	0
2019年　6月	4	0	37	0	2 (43-3) 0 (43-4)	0 (43-3) 0 (43-4)	0 0		4	0
2019年　7月	4	0	36	0	1 (43-3) 2 (43-4)	0 (43-3) 0 (43-4)	0 0		1	1
2019年　8月	1	0	25	0	0 (43-3) 4 (43-4)	0 (43-3) 0 (43-4)	0 0		7	1
2019年　9月	8	0	13	0	11 (43-4) 0 (44-1)	0 (43-4) 0 (44-1)	0 0		8	1
2019年　10月	9	0	20	0	0 (43-4) 0 (44-1)	0 (43-4) 0 (44-1)	0 0		2	0

広報委員会からのお知らせ

科学教育研究レター第 245 号をお届けします．一般社団法人日本科学教育学会の広報活動についてお気づきの点などがございましたら，学会 Web サイトにある「お問い合わせ」をご利用のうえ，お知らせください．

担当理事： 舟生日出男（創価大）　谷塚光典（信州大）

委　　員： 内ノ倉真吾（鹿児島大）　益川弘如（聖心女子大）　竹中真希子（大分大）
縣　秀彦（国立天文台）　加納寛子（山形大）　島田和典（東京学芸大）
高橋　聡（東京理科大）

幹　　事： 辻山洋介（千葉大）　石﨑友規（常磐大）

科学教育研究レター編集　日本科学教育学会広報委員会

一般社団法人日本科学教育学会　Japan Society for Science Education

ＵＲＬ： *http://www.jsse.jp*

□ 事務局　中西印刷（株） 学会部　内　ＴＥＬ：075-415-3661　ＦＡＸ：075-415-3662
E-mail : *jsse [at mark] nacos.com*
〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル

□編集事務局（論文投稿・査読編集）　ＴＥＬ：075-415-3155　ＦＡＸ：075-417-2050
E-mail : *jsse-hen [at mark] nacos.com*
中西印刷（株） 学会部　内　〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル

郵便振替口座：00170-6-85183　日本科学教育学会
銀 行 口 座：みずほ銀行 京都中央支店　普通 2269008　日本科学教育学会